

1. 授業の概要(ねらい)

「中堅校」レベルの言語学/英語学 実践編を目指します。
具体例を挙げながら進み、少しは学問の力を感じて頂けるものになりたいと思います。

2. 授業の到達目標

「既習の事項を整理しこれから仕込むべきものを入れる整理ダナを獲得する。」
がむしやらに勉強してこられた英語・また他の言語を、ここで別の視点から振り返ってみませんか。
皆さんが薄々は気付いていたこと(、場合によっては考えもしなかったこと)を明確なコトバで確認していきたい。基本的には多くの方ご存じの日・英の対照ですが、それ以外にいくつかの「有力な」言語から例を引くことがあります。
皆さんの言語に関する積年の疑問のうち、半年後本授業により解けているものが少なからずあれば喜ばしく思います。

3. 成績評価の方法および基準

平常点各回2点
評価基準: 始鈴時に教室に処り、授業に貢献しつつ最後まで処ること。授業の妨害をするなど論外。
あとは試験
試験について最終的なことは教室で何度も学生方のお顔を拝させて頂いてからでないとしあげられません!
成績について照会したい者は直後のセメスタに教員の所に来ること。

4. 教科書・参考文献

教科書
三原・高見(編) [予定]: 『日英対照 英語学の基礎』 東京: くろしお出版。

5. 準備学修の内容

この授業では予習より復習を重視します。それから先のことは、皆さんもう大学生でありますので、授業にご出席の上各々の学力・状況に応じてお取り組みください。

6. その他履修上の注意事項

*毎年学生さんの資質は異なるものです。当然乍ら下記授業計画は変更され得ます。
開講時に必ず来てください。
毎回定時に教室に処ること。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入
- 【第2回】 母音と母音体系
- 【第3回】 子音と子音体系
- 【第4回】 形態音素交替
- 【第5回】 小纏め
- 【第6回】 音節とモラ
- 【第7回】 アクセント
- 【第8回】 文アクセントとイントネーション
- 【第9回】 小纏め
- 【第10回】 語の意味
- 【第11回】 意味関係
- 【第12回】 多義
- 【第13回】 名詞の意味
- 【第14回】 動詞の意味
- 【第15回】 纏め